

あなたの身近な相談相手！ 民生委員・児童委員

詳しくは ☎ 社会福祉課 ☎ 788-4933

民生委員・児童委員ってどんな人？

地域住民のなかから選ばれ、住民の「見守り役」「身近な相談相手」「専門機関へのつなぎ役」として、民生委員法に基づき厚生労働大臣から委嘱され活動しています。

どんな活動をしているの？

住民の相談・支援活動

地域の見守り役として、訪問活動や高齢者の安否確認を行っています。

また、地域住民が抱える悩みや心配ごとの相談にのり、必要に応じて行政などの専門機関へつないだり、福祉サービスなどの情報提供を行ったりします。

主任児童委員ってどんな人？

主任児童委員はこどもや子育て家庭への支援を専門に担当しています（担当区域はもちません）。児童福祉に関する機関と民生委員・児童委員との連絡調整を行うことで、協力して活動を行います。

地域福祉活動

住民の居場所づくり活動の一環としてサロン活動（100歳体操）などに取り組んでいます。

また、地域や市の行事に参加することで住民との交流を深めたり、民生委員のPR活動を行ったりしています。



地域での活動の様子①（100歳体操）



地域での活動の様子②（100歳体操）



おけがわ春のふれあいフェスタでのPR活動（2025年）



桶川市民まつりパレードでのPR活動（2025年）

教えて！ 民生委員さん！

Q. 桶川市の民生委員は何人いるの？

A. 令和8年4月1日現在、129人（定数146人）が活動しています。そのうち、13人（定数14人）が主任児童委員です。

Q. 自分の地域の民生委員が知りたい場合は？

A. 民生委員はそれぞれ一定の地区を担当しています。社会福祉課までお気軽にお問い合わせください。

Q. どんな相談ができるの？

A. 高齢者などへの支援、病気で生活に困っているなど、お困りごとや不安なことがある時はお気軽にご相談ください！

民生委員は厚生労働大臣から委嘱された非常勤特別職地方公務員・無報酬のボランティアです。地域の皆様の傍らで、寄り添って支援活動を行っています。定数146人で現在129人が委嘱を受け、17人の欠員です。後任者に関しては、地域高齢化が進み、対応が非常に難しく、各自治会および地域の皆様に文章や声掛けにてご協力を願っております。

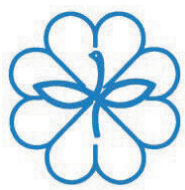
桶川市では七つに地区分けがされています。地区ごとに担当委員が声掛け見守りの支援活動を行っています。主に福祉に携わる高齢者独居の生活不安、障害者介護の悩み、安否確認など、内容によっては各関係機関に繋いでいます。子ども達の見守り、子育ての応援に関しては、主任児童委員が専門に担当しています。

各地域の安心安全まちづくりを願って活動しています。何かございましたら、お声掛けください。

桶川市民生委員・児童委員協議会
会長 中村 文雄



前列：地区会長の皆さん 後列：地区副会長の皆さん



5月12日は
「民生委員・児童委員の日」です
～支えあう 住みよい社会 地域から～

民生委員制度は、100年以上の歴史と 伝統を有しています

民生委員制度は、大正6年に岡山県で創設された「こせい済世顧問制度」に始まります。生活に困窮する人々を救うため始まった制度で、その後今日に至るまで、さまざまな理由で生活上の課題をかかえる人々の支えになってきました。

なぜ5月12日が 「民生委員・児童委員の日」？

民生委員制度の源となった「済世顧問制度」の設置に関する規程が公布されたのが、大正6年5月12日であることから、この日を「民生委員・児童委員の日」としています。

夢と希望を未来へ

令和8年度施政方針と予算のあらまし

3月定例市議会で、令和8年度当初予算案が可決されました。

予算総額は、一般会計、特別会計、公共下水道事業会計を合わせて473億967万8千円で、前年度と比べると1.5パーセントの増額となっています。



桶川市長
小野克典

令和8年度 施政方針（要旨）

昨年4月の市長選におきまして、市政4期目の重責を担わせていただくことになり、身の引き締まる思いでこの1年間、様々な事業に取り組んでまいりました。

引き続き、初心を忘れることなく、市民の皆様の声に耳を傾け、これまで培った経験と実績を基に、桶川市を更に発展させるべく、次のステージへと押し上げていくために、全力で職務を全うしていく所存でございます。

令和7年度を振り返りますと、3月に開業しました「道の駅べに花の郷おけがわ」が開業以来140万人を超える多くの方に「ご来場いただき、新たな賑わいの創出が図られました。また、本市の農工商振興をはじめとする地域活性化の拠点や、新たな魅力発信拠点だけでなく、埼玉県内初の「防災道の駅」として選定されたことで、万が一の災害時には、道路

利用者等の一時的な避難や、国・県と連携した広域的な防災拠点としての役割も大きく期待されております。更に、桶川駅東口整備や、企業誘致、川島町とのごみ処理広域化に向けた取り組みなど、将来へと繋ぐ未来への投資となる事業につきましても、着実に前に進めてまいりました。令和8年度につきましても、新たなステージに向けた各種事業を推進してまいります。

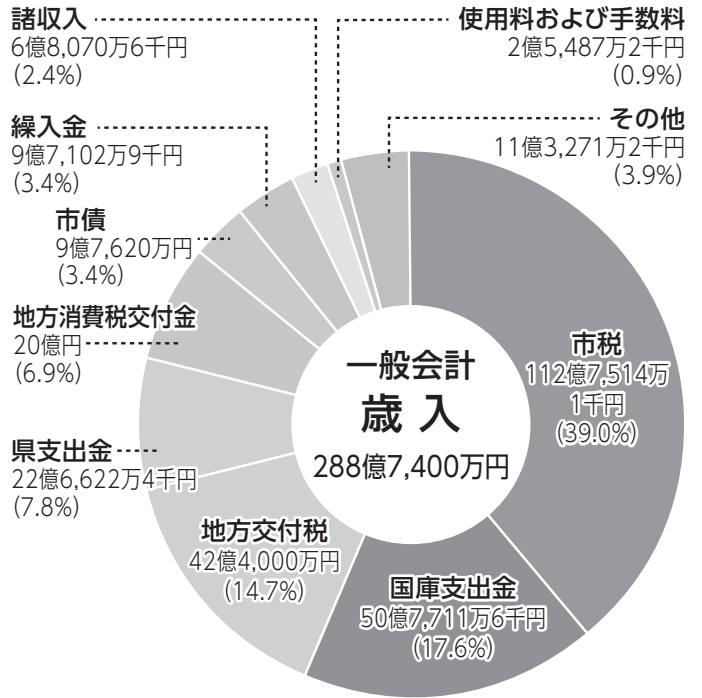
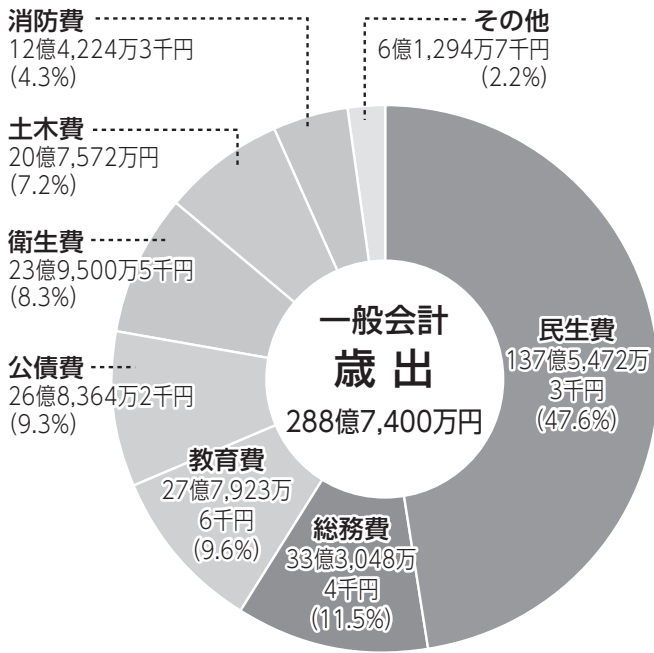
現在、我が国では、名目賃金は上昇しているものの、実質賃金の減少が続くなど、急激な物価高騰が市民生活に大きな影響を与えております。このような中、本市といたしましては、国の交付金を活用した市の独自事業として、市民一人当たり5千円の「くらし応援商品券配布事業」や、4月検針分から4カ月分の「水道基本料金免除事業」など、市民生活や地域経済を守るための取り組みを進めてまいります。

令和8年度当初予算の編成に当たりましては、母子保健のDX推進の一環として、電子版の母子手帳を導入するなど、「安心安全で利便性の高いまちづくりの推進」、家庭内でこどもの養育が一時

的に困難となった場合に、夜間や休日における短期支援を始めるなどの「こどもが輝き、安心して子育てができるまちづくりの推進」、聴力機能の低下によりコミュニケーションが取りにくい高齢者の方への補聴器の購入費用の一部補助を始めるなどの「誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくりの推進」、近年人気の高いスケートボードなどのニースポーツに親しめるエリアを整備するなどの「にぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりの推進」、そして魅力ある中心市街地の形成を図るため駅東口開発を推進するなどの「新たな時代に向けたまちづくりの推進」など、5つの柱を中心に、課題を先送りすることなく、将来の礎となる事業に取り組みつつも、今後準備市債（借金）の抑制や基金（貯金）の確保に取り組みなど、いわゆる攻めと守りの経営バランスを図り、限られた財源の中で効果的に施策を展開できるよう編成したところでございます。

引き続き「桶川市第六次総合計画」の将来像である「学び豊かな 笑顔あふれる 幸せ未来都市 おけがわ」の実現に向け、夢と希望を未来へつなぐ持続可能なまちづくりに全力で取り組んでまいりますので、市民の皆様のより一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当初予算のあらまし



会計別の予算

(単位：千円)

会計名	予算額	前年度比	
一般会計	28,874,000	△0.8%	
特別会計	国民健康保険特別会計	7,150,000	0.6%
	介護保険特別会計	7,548,000	6.1%
	後期高齢者医療特別会計	1,597,000	12.9%
公共下水道事業会計	2,140,678	13.6%	
合計	47,309,678	1.5%	

小数点第2位を四捨五入

歳入

歳入総額は、288億7,400万円で、前年度より0.8%減少しています。

歳入で最も多いのは、市税（市民税、固定資産税など）で39%を占め、112億7,514万1千円を見込んでいます。次に多いのが国庫支出金で50億7,711万6千円となつています。以下、地方交付税、県支出金、

一般会計内訳

地方消費税交付金、市債と続いています。

歳出

歳出総額も歳入と同じ288億7,400万円です。

歳出で最も多いのは、民生費の137億5,472万3千円で47.6%を占め、次に、総務費33億3,048万4千円、以下、教育費、公債費、衛生費、土木費と続いています。

今年度の主要事業

※各事業は主なもの概要、順不同です。

■生きる力と豊かな心を育む 桶川

【教育・文化】

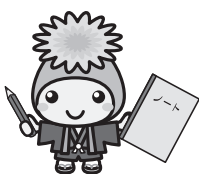
学習支援室専任職員拡充事業

1,689万9千円

不登校や個別の配慮を必要とする児童生徒への支援のため、学習支援室専任職員を拡充し、現在、市内全ての中学校と小学校4校に設置している学習支援室を小学校も全校へ増設します。

テスト自動採点システム導入事業 39万6千円

中学校へテスト自動採点システムを導入し、採点時間の削減だけでなく、採点ミスの防止や成績管理など事務作業の効率化を図ります。



←次ページへ続く

学校プール民間委託事業

2,047万9千円

現在、市内全ての中学校で実施している学校プール民間委託を小学校2校にも拡大し、年間通して安定的に水泳授業を実施します。

中学校部活動地域展開事業

23万1千円

国のガイドラインに示された部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に基づき、将来にわたる生徒のスポーツ・文化芸術活動機会の確保・充実を図ります。令和8年度からは、剣道部の休日部活動の一部を対象に実施します。

特別教室等空調設備整備事業

4億8,800万円

(令和7年度繰越分を含む)

昨今の記録的猛暑などに鑑みて、快適な教育環境を実現するため、空調機の設置がされていない特別教室等へ空調設備の整備を行います。令和8年度は桶川西小学校、桶川東小学校、日出谷小学校、朝日小学校の4校の設計を実施することも、

令和7年度の繰越事業として、中学校全校への空調設備整備工事を実施します。

舎人スポーツパーク改修事業

8,300万円

施設の老朽化等に対応するため、テニスコートの改修工事を実施するほか、近年人気の高いスケートボードなどのニユーススポーツに親しんでいただけるエリアを新たに整備し、施設利用の促進を図ります。



市民ホール舞台機構制御システム改修事業

9,920万円

市民ホール(大ホール)の舞台機構制御システムの老朽化に伴い、改修工事を実施します。

■共に支え合い いきいきと暮らせる 桶川

【健康・福祉】

子育て短期支援事業

37万8千円

保護者の負担軽減を図るため、様々な事情により、家庭内で児童の養育が一時的に困難となったときに、児童養護施設において、一定期間、養育・保護を行う短期支援の取り組みを進めます。

乳児等通園支援事業

901万5千円

全てのこどもの育ちを応援し、子育て家庭の支援を強化するため、いわゆる「こども誰でも通園制度」を実施し、引き続き安心して子育てができる環境を整備していきます。

母子アプリ導入事業

276万4千円

母子保健のDX推進の一環として、電子版の母子健康手帳を導入し、子どもの成長をスマートフォンで日常的に記録できるなどの妊産婦等への支

援体制の強化を図ります。

高齢者補聴器購入費助成事業

200万円

聴力機能の低下によりコミュニケーションが取りにくい高齢者の方に、補聴器の購入費用の一部を助成します。



全国健康福祉祭埼玉大会開催事業

500万円

「ねんりんピック」埼玉大会が開催され、本市ではインディアカ交流大会を実施します。大会の開催に必要な経費について実行委員会に補助します。

がん検診事業

5,828万5千円

がんの早期発見・早期治療により、がんの死亡率減少を図る胃がん検診について50歳以上の偶数年齢の希望者に対して、内視鏡による検査を選択できるよう実施します。

病児病後児保育施設整備費補助金

564万3千円

現在の病児病後児保育施設から事業継承を予定している事業所に対して、施設改修に要する経費の一部を補助します。

東側基幹子育て支援施設整備事業

1億6,581万円

北保育所及び坂田保育所の再編に伴い、東側基幹子育て支援施設を整備します。令和8年度は旧勤労青少年ホーム等の解体工事及び新施設の設計を実施します。

■安心して暮らし続けられる 桶川

【安心安全・都市基盤】

南小跡地等民間活力導入調査

1,500万円

ことぶき広場として暫定利用されている南小跡地や駅東口周辺市有地について、令和7年度に策定した施設計画をもとに、施設整備に向けた民間活力の導入について調査を実施します。



日山谷地区公共施設等整備事業
234万5千円

日山谷地区のコミュニティ拠点として公共施設等の整備を進めるため、民間事業者の選定に向けた業務及び市有地の地代算定などを実施します。

殿山公園整備事業

1,887万1千円

令和7年度に引き続き、都市公園の整備推進を図るため、殿山公園の整備に向けた公園整備の設計を実施します。

駅東口整備事業

1億4,891万円

駅前広場や駅前交差点等の整備を進めながら、安心・安全で賑わいのある駅東口周辺地区を目指します。令和8年度は駅前広場整備の実施設計、駅前交差点付近の無電柱化のための共同溝整備及び南小跡地への接続道路の用地買収を実施します。

■環境にやさしく みどり
りと調和した 桶川

【環境・みどり】

脱炭素推進事業

4億1,661万7千円

地球温暖化対策の推進や資源循環型社会構築のため、公共施設（道路照明灯など）のLED化やごみの減量・再資源化などの取り組みを推進します。



川島桶川資源循環組合負担金

1億398万5千円

ごみ処理の広域化を推進するため、川島町と桶川市が構成団体となる一部事務組合である「川島桶川資源循環組合」の経費を1市1町で負担します。

■にぎわいと活力ある
桶川

【産業・経済】

公金収納デジタル化対応事業

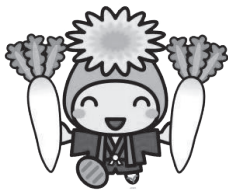
150万7千円

介護保険料及び後期高齢者医療保険料について、令和9年度からキャッシュレス決済が可能な「地方税統一QRコード」に対応するため、所要のシステム改修を実施します。

認定農業者支援事業

240万円

将来にわたる持続可能な農業経営の安定化のため、市内の認定農業者に対し、農業用機械等の購入費の一部を補助します。



新たに計画を策定しました

計画書やパブリック・コメントの結果は、市ホームページか情報公開コーナーで確認できます。

桶川市新型インフルエンザ等対策行動計画

詳しくは ☎健康増進課 ☎786-1855

新型インフルエンザ等対策特別措置法第8条に基づき、基本的な方針や市の対応などを示すものです。世界中のどこかで新型インフルエンザなどが発生した際、「感染拡大を可能な限り抑制し、市民の生命や健康を保護する」こと、「市民生活や市民経済に及ぼす影響が最小となるようにする」ことを目的としています。



詳しくはこちら

桶川市生活排水処理基本計画

詳しくは ☎環境対策推進課 ☎788-4925

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項に基づき、市内の生活排水を適正に処理する基本事項を定め、生活環境の向上や公共用水域の水質改善を目的として策定しました。市の健全な発展のため、今後、本計画に基づく効果的な生活排水処理を推進していきます。



詳しくはこちら